

令和5年度 嘉麻市教育委員会 生涯学習課事業計画表（案）

- | | | | |
|----------|-------|------------|------|
| ・ 社会教育係 | 1～ 2 | ・ 人権・同和教育係 | 3 |
| ・ 中央公民館係 | 4～ 5 | ・ 図書館係 | 6～ 9 |
| ・ 美術館係 | 10～14 | ・ 文化財係 | 15 |

令和5年度 嘉麻市教育委員会 生涯学習課事業計画表(案)

【社会教育係】

番号	アクションプラン主要施策	アクションプラン施策内容	アクションプラン事業名	個別事業名	令和5年度事業計画						
					実施目標	実施時期/回数	事業内容	前年度からの課題	課題解決に向けての対策(どのような方法で)	主な事業予算	関連事業(関係機関)
1	3 豊かな人間性及び志をもってたくましく生きる力を培う教育の推進	(5)家庭・地域の教育力を高める支援体制の充実	② 家庭教育支援事業	家庭教育支援事業	乳幼児から思春期の子どもを持つ保護者に対し、学習の機会を提供することで、子育ての不安や負担感・行き詰まり感を解消することを目的とします。また、保護者・子どもに家庭教育に関する情報を提供し、子どもの社会的自立と家庭の教育力向上を目指します。	通年/随時	<ul style="list-style-type: none"> ■メディアに関する啓発活動 <ul style="list-style-type: none"> ・メディア講座・情報提供〔小中学生・保護者・教職員等〕 ■屋外体験事業 <ul style="list-style-type: none"> ・ミニプレーパーク ・のびのびプレーパーク ・はたらく車集合 ■家庭教育支援講座 <ul style="list-style-type: none"> ・親育ち子育てガイド ポジティブ・ディンプリン ・声だけ子育て WEBひろば(リモート) ・おんぶとだっこでぬくもり育児 ※アクションプラン目標値 ・メディア啓発講座実施校数 (小学校):5校 (中学校):2校 (義務教育学校):3校	<ul style="list-style-type: none"> ■SNS等の利用に関連したいじめ・事件や、メディア使用過多による生活習慣の乱れ、体や心の不調など、メディアに関する影響について、広範に啓発を行っていく必要があります。 ■屋外体験事業及び家庭教育支援事業について、ウイズコロナの時代における事業内容の検討を行う必要があります。 	<ul style="list-style-type: none"> ■メディアに関する事象の把握に努め、小中学生・保護者・教職員等を対象とし、現状に応じた啓発を行います。また、「家庭教育支援リーフレット」を活用した情報提供を行います。 ■屋外体験事業については、アンケート等により参加者のニーズを把握し、事業内容を検討していきます。家庭教育支援講座については、会場参加形式のほか、リモート形式による講座を実施します。 ホームページやSNSを活用し、情報を発信することで、広範な周知を図ります。	報償費 22千円 旅費 8千円 需用費 210千円	図書館 美術館 子育て支援課 市内小中学校、高校、幼稚園、保育園 嘉麻警察署 飯塚消防署嘉麻分署 森林組合 JAF 人材バンクボランティア
2	3 豊かな人間性及び志をもってたくましく生きる力を培う教育の推進	(5)家庭・地域の教育力を高める支援体制の充実	③ 青少年健全育成事業	青少年対策事業	次代を担う青少年が心豊かに育ち、非行やいじめのない社会の実現を図るとともに、青少年問題にかかわる関係機関・団体はもとより、学校、家庭、地域の連携を強化し、社会全体の取組みとして、青少年の健全育成を図ります。	通年/随時	<ul style="list-style-type: none"> ■少年相談センター業務 ■少年補導委員の委嘱 巡回補導 ※アクションプラン目標値 ・少年補導委員研修会開催数:1回 ・巡回補導回数(年間):24回	<ul style="list-style-type: none"> ■児童・生徒並びに保護者等からの相談に適切に対応する必要があります。 ■少年補導委員の高齢化が進み、委員数が減少傾向にあるため、委員確保の必要があります。 	<ul style="list-style-type: none"> ■相談内容により、学校教育課や教育研究所と情報共有を行い、必要に応じ専門機関に繋げるなど、適切な対応を行います。 ■少年補導委員について、欠員補充及び委員の交代などについて嘉麻警察署と協議・情報交換を行います。また、補導状況や不審者事案等の情報共有を行い、補導委員を対象とした研修会を開催し業務の認識を深めます。 	少年補導員謝礼 840千円 傷害保険料 29千円 補助金 328千円	市内小中学校 嘉麻警察署 防犯協会 交通安全協会 PTA 防災対策課 教育研究所 学校教育課 子育て支援課
3	3 豊かな人間性及び志をもってたくましく生きる力を培う教育の推進	(6)男女共同参画教育の推進	② 地域社会における男女共同参画推進事業	地域社会における男女共同参画推進事業	社会教育における事業や講座を通して、男女共同参画の趣旨や必要性についての意識啓発を行うとともに、講座を実施する中で性別役割分担意識の解消に努めます。	通年/随時	事業や講座を行う中で、家庭や地域の中での固定的な性別役割分担意識の解消に繋がるよう情報提供を行うなど、男女共同参画についての意識啓発を行います。 ※アクションプラン目標値 ・啓発活動の実施:5回	男性保護者も含め、家族での参加を促すような事業・講座の実施を検討し、家庭教育における男女共同参画を図る必要があります。	男女共同参画の視点に立った事業内容の検討・実施を進めます。	—	男女共同参画推進課等
4	4 生涯学習の実現を目指す社会教育の推進	(1)生涯学習関係機関、団体との連携・協体制の整備	① 社会教育関係団体育成事業	社会教育関係団体育成事業	社会教育関係団体の自主的・主体的活動が活発に行われることにより、地域の社会教育活動の活性化を図ります。	通年/随時	<ul style="list-style-type: none"> ■社会教育関係団体の自主的な運営へ向けた指導・助言。 ■社会教育関係団体への補助金交付による活動支援。 ※アクションプラン目標値 ・支援団体数:9団体	<ul style="list-style-type: none"> ■団体構成者の高齢化・固定化が進んでいます。 ■コロナ対策を講じた上での事業実施の検討を行う必要があります。 	<ul style="list-style-type: none"> ■団体の支部については各地区の地域活動指導員が主となり関わっているため、指導員と共通した認識を持ち、団体の活性化に向けた指導助言を行います。 ■コロナ対策に関連した情報提供を行うとともに、適正な補助金の使途についての指導助言を行います。 	補助金 5,458千円	社会教育関係団体

令和5年度 嘉麻市教育委員会 生涯学習課事業計画表(案)

【社会教育係】

番号	アクションプラン主要施策	アクションプラン施策内容	アクションプラン事業名	個別事業名	令和5年度事業計画						
					実施目標	実施時期/回数	事業内容	前年度からの課題	課題解決に向けての対策(どのような方法で)	主な事業予算	関連事業(関係機関)
5	4 生涯学習の実現を目指す社会教育の推進	(2)学習機会の提供及び学習成果の活用促進	① 社会教育施設整備事業	社会教育施設整備事業	地域の生涯学習の拠点である社会教育施設の適切な維持管理運営を行い、市民の教育・文化の向上と生きがいに繋げます。	通年/随時	社会教育施設の適切な維持管理 ※アクションプラン目標値 ・施設利用者数:24,600人	経常経費のほか、突発的な故障等による修繕費の支出も増加傾向にあるため、廃止を含めた施設の運営管理を検討する必要があります。	<ul style="list-style-type: none"> ■施設利用者の安全面を考慮し、緊急性の高いものから整備を行います。また、保守点検結果を精査し、必要最小限の補修等を行います。 ■行財政改革に伴う個別施設の見直し計画・方針に基づき、財政部局、地元関係者等と廃止を含めた協議を進めるとともに、適正な運営を行います。 	なつき文化ホール 18,847千円 上山田住民ホール 10,676千円 山田市民センター 15,411千円 白馬ホール 9,445千円	企画財政課 防災対策課
6	4 生涯学習の実現を目指す社会教育の推進	(2)学習機会の提供及び学習成果の活用促進	② 生涯学習推進事業	生涯学習推進事業	市民が学習した成果を地域で活用し、更なる学びや生きがいに繋がる「知の循環型社会」を構築することにより、お互いに学び合い、生きがいのある豊かな地域社会をつくることを目指します。	通年/随時	<ul style="list-style-type: none"> ■内部研修会の実施と外部研修会への参加 職員・団体等の自己研鑽のため、自主研修会の実施と外部研修会への参加を促進し、個々の資質向上を図ります。 ■地域活動指導員を配置し、様々な体験活動、家庭教育支援、人権教育を推進します。 ■わたしのエッセイ ■ボランティア人材バンクの活用 ※アクションプラン目標値 ・内部研修会の実施:3回 ・外部研修会への参加:5回 ・人材バンク登録者数:280人 ・人材バンク派遣回数:85回	人材バンク登録者の減少に伴い、利用件数も減少しています。 生涯学習関係職員の資質向上を図る必要があります。	人材バンクについて、募集周知内容の見直しを行い、登録者数の増加を図ります。 内部研修会の実施と外部研修会への参加による職員の資質向上を図ります。	報酬 地域活動指導員報酬 17,813千円 報償費 わたしのエッセイ記念品等 206千円	社会教育総合センター 筑豊教育事務所 社会教育関係団体 市内小中学校、高校、幼稚園、保育園

令和5年度 嘉麻市教育委員会 生涯学習課事業計画表(案)

【人権・同和教育係】

番号	アクションプラン主要施策	アクションプラン施策内容	アクションプラン事業名	個別事業名	令和5年度事業計画						
					実施目標	実施時期／回数	事業内容	前年度からの課題	課題解決に向けての対策(どのような方法で)	主な事業予算	関連事業(関係機関)
1	6 人権尊重精神を育成する教育の推進	(2)社会教育における人権・同和教育の推進及び支援	① 人権・同和教育推進事業	地域等での人権・部落問題研修会及び子ども向けの人権学習	・行政区、団体・サークル、企業等の人権・部落問題に関する学習を推進し、地域社会や職域などにおいて、人権尊重の涵養を図ります。 ・市民を対象に各地区公民館において人権・部落問題についての研修会を行い、日々の暮らしや住民の自然な会話の中から人権意識の広がりを図ります。 ・子どもたちを対象に人権について学ぶ機会を確保し、人権問題についての正しい認識と理解を深めます。	4月1日～3月31日 地域等での研修会開催数27回	研修会の実施にあたっては、視聴覚教材などを活用し、人権・部落問題について考えるきっかけを提起し、自らの偏見や差別意識、忌避意識を見直すとともに、正しい認識と理解を深める学習の場とします。 ・地域等で実施する人権・部落問題研修会については、参加者の要望等に応じた研修内容で実施します。 ・各地区公民館で行う人権・部落問題研修会については、各地区公民館と連携を図ります。 ・子どもたちを対象とした学習会については、生涯学習課が実施する事業の中で実施するとともに、小・中学校で行っている人権学習にゲストティーチャーとして積極的に参加します。	地域住民によって構成された行政区において、人権・部落問題研修会が開催されるよう、積極的に働きかける必要があります。 各審議会等においても、人権・部落問題研修会の開催を促す必要があります。 社会状況に応じた個別の人権課題及び地域のニーズに合った研修内容となるよう工夫改善に努める必要がある。	行政区長会を所管する総務課及び市民サービス課との協議・連携を図り、民生委員・児童委員協議会においても人権・部落問題研修会を開催し、人権について考える機会を持っていただけるよう、働きかけを行っていきます。 各審議会等を所管する課等々到人権・部落問題研修会の開催を積極的に促していきます。 人権・部落問題への関心を高める研修内容の工夫改善を図るため、資料作成や教材の検討を行います。	【報償費】 講師謝礼 805千円 【旅費】 普通旅費 23千円 特別旅費 1,800千円 【需用費】 消耗品費 211千円 食糧費 3千円 【委託料】 62千円 【備品購入費】 291千円	・各地区行政区長 ・総務課 ・総合窓口課総務係 ・小・中学校 ・市人権・同和教育研究協議会
2	6 人権尊重精神を育成する教育の推進	(2)社会教育における人権・同和教育の推進及び支援	① 人権・同和教育推進事業	事業主人権・部落問題研修会	市内事業所の事業主を対象に人権・部落問題研修会を開催し、事業所内全体の人権感覚が高まっていくよう目指します。	未定 1回/年	人権・同和対策課と連携し、飯塚公共職業安定所との共催で、市内事業所の事業主を対象に外部講師等による人権・部落問題研修会を開催します。	研修会開催に向けて関係部署と連携・協議し、より多くの事業所が参加するよう研修会にしていく必要があります。	開催通知に加え、各庁舎へのポスター掲示及びホームページ等へ掲載し、より多くの事業所に参加していただけるよう周知を図ります。	【負担金補助及び交付金】 負担金 196千円 補助金 1,000千円	・人権・同和対策課(共催) ・飯塚公共職業安定所
3	6 人権尊重精神を育成する教育の推進	(2)社会教育における人権・同和教育の推進及び支援	② 人権・同和教育推進少年団体育成事業	解放子ども会	解放子ども会活動を通じて、差別を許さず、差別をなくしていくことと子どもの育成を図ります。	4月1日～3月31日	部落差別をはじめあらゆる差別をなくすることを主たる目的として活動する団体が企画運営する解放子ども会事業について、嘉麻市解放子ども会事業補助金交付規程に基づき補助金を交付します。	補助事業の目的及び内容となっているか、注視し、引き続き審査を行います。 また事業展開が子どもたちの部落問題学習の深まりとなっているか、今後も継続して支援を行う必要があります。	補助事業計画・内容について精査し、補助金交付を行う さらに事業展開については小・中学校と情報共有を図り、子どもたちの部落問題学習が深まる活動となるよう活動に対して助言等と支援を継続していきます。	【負担金補助及び交付金】 3,000千円	・部落解放同盟嘉麻市協議会 ・小・中学校
4	6 人権尊重精神を育成する教育の推進	(2)社会教育における人権・同和教育の推進及び支援	③ 人権・同和教育推進団体育成事業	解放学級	社会の変化に伴い多様化する厳しい差別の実現に打ち克つ力を身につけるため、一人ひとりが継続して自ら気づき、考え、行動する力を培う学習活動を学校と協力して支援します。	4月1日～3月31日 1回/月 各1回/年	各地区において自主的に計画した人権学習を月1回実施します。 合同開講式及び閉講式を実施することで、共に学び合い、お互いの理解と心の繋がりを深めます。	学級生の自主的・主体的な学習活動を引続き支援する必要があります。 学習内容の工夫・充実を図る必要があります。 学びの継続となるよう、学習の機会を持つようとする意識になるよう働きかける必要があります。	学習計画を学級生と共に話し合い、学校と協力しながら地域のニーズを掘り起こします。 また、人権・同和教育指導員については、研修会参加や教材研究等でスキルアップを図り、学習活動を支援します。 共に学びあいや繋がりを深めることへの理解を深めるために呼びかけをしていきます。	【報償費】 講師謝礼 1,485千円 【需用費】 消耗品費 96千円 燃料費 26千円	・地域住民 ・小・中学校
5	6 人権尊重精神を育成する教育の推進	(2)社会教育における人権・同和教育の推進及び支援	③ 人権・同和教育推進団体育成事業	識字学級	日常生活において文字の読み書きに不自由している人の読み書きを学ぶ場と学ぶ機会の確保を図り、活動を支援します。	4月1日～3月31日 1回/週	週1回識字学級を開催し、学校と協力して文字の読み書き学習を支援します。 また、自主学習においては、学習内容が異なるため、分からないところは質問できる雰囲気づくりを支援していきます。	文字を獲得することで、生きることへの自信や喜びに繋がり、また人権・部落問題の学びを継続して支援することが必要です。	人権・部落問題の学びを日常生活の中で高めていく学習内容の工夫を行います。 さらに、学級生の自主学習活動を維持するため、学校と協力し、教材などの情報の掘り起こしを継続して行います。	【使用料及び賃借料】 676千円	・小・中学校

令和5年度 嘉麻市教育委員会 生涯学習課事業計画表(案)

【生涯学習課中央公民館係】

番号	アクションプラン主要施策	アクションプラン施策内容	アクションプラン事業名	個別事業名	令和5年度事業計画						
					実施目標	実施時期/回数	事業内容	前年度からの課題	課題解決に向けての対策(どのような方法で)	主な事業予算	関連事業(関係機関)
1	4 生涯学習の実現を目指す社会教育の推進	(2)学習機会の提供及び学習成果の活用促進	③ 公立公民館・自治公民館連携強化推進事業	分館・自治公民館活動支援事業	公立公民館と自治公民館が連携し、地域課題の把握や情報共有を行い、市内で統一した事業展開を図る。	4月～3月/随時	・公民館関係者を対象とした研修会等の開催及び参加(4回) ・地区公民館長会議の開催(12回) ・分館長会議の開催(2回) ・自治公民館長会議の開催(2回) ・分館運営費補助金の交付 ・自治公民館活動事業費補助金の交付	研修会や会議の回数がコロナ禍により減少したことから、地域課題の把握や情報共有の場も減少した。	地区公民館が中心となり、地域課題等の把握に努め、分館や自治公民館の活動支援を行う。	事業総額 13,630千円 (内訳) 分館運営費補助金 3,803千円 自治公民館等活動費補助金 3,683千円 人件費 3,680千円 その他(保険代ほか) 2,464千円	中央公民館 地区公民館 分館 自治公民館
2	4 生涯学習の実現を目指す社会教育の推進	(2)学習機会の提供及び学習成果の活用促進	④ 公民館活動活性化推進事業	公民館施設管理運営事業	公民館が生涯学習活動の拠点として機能するよう施設の適切な維持管理を行う。	4月～3月/随時	公立公民館施設 ・施設の維持及び管理運営 ・施設備品の維持管理 類似公民館施設(市所有分) ・施設の修繕 公民館類似施設(地元所有分) ・補修等補助金の交付	施設の経年劣化により部品交換や修繕の費用が増加している。また、突発的な故障で修繕が高額な場合は、迅速に修繕ができない場合がある。	来館者が快適に施設を利用できるよう、保守点検結果等に基づいた修繕計画を逐次見直し、修繕や補修を実施していく。	事業総額 89,767千円 (内訳) 公立公民館施設管理 72,177千円 公立公民館補修等 8,282千円 類似公民館補修等 4,702千円 公民館類似施設補修等補助金 4,606千円	中央公民館 地区公民館 分館 自治公民館
3	4 生涯学習の実現を目指す社会教育の推進	(2)学習機会の提供及び学習成果の活用促進	④ 公民館活動活性化推進事業	嘉麻市公民館体制の再構築事業	嘉麻市公民館基本計画の一部改訂	4月～3月/随時	・嘉麻市公民館基本計画に基づく実施計画の策定 ・公立公民館施設整備事業	嘉麻市公民館基本計画に基づく実施計画の策定については、課題が多岐にわたるため関係機関等との協議に時間を要す。	分館設置及び移行については、現状並びに将来を見据えた見直しを行う。 実施計画の策定にあわせて、嘉麻市公民館基本計画の一部改訂を行う。 施設整備事業については経費等を算出する必要があるため、設計業務等を委託する。	事業総額 118,440千円 (内訳) 稲築地区公民館 建替等設計委託料 104,778千円 稲築地区公民館 家屋事前調査委託料 6,361千円	公民館運営審議会 中央公民館 地区公民館 分館 自治公民館 財政課
4	4 生涯学習の実現を目指す社会教育の推進	(2)学習機会の提供及び学習成果の活用促進	④ 公民館活動活性化推進事業	成人事業	大人になったことを自覚し、自らの努力で、人生を切り拓こうとする新成人を祝い励まし、若者の社会や地域のリーダーとしての育成を行う。	令和5年4月 令和6年1月/1回	・18歳に達した方への成人教育 ・20歳を対象とした式典の開催(※嘉麻市二十歳を祝う会)	式典等は20歳の方を対象として開催するため、18歳の方には、別途成人の意味を伝える啓発が必要である。	18歳の方には成人に関する啓発冊子を配布する。 コロナ禍においては、できる限りの感染防止対策を講じ式典が開催できるよう努める。	事業総額 687千円	嘉麻市 嘉麻市教育委員会 中央公民館 地区公民館

令和5年度 嘉麻市教育委員会 生涯学習課事業計画表(案)

【生涯学習課中央公民館係】

番号	アクションプラン主要施策	アクションプラン施策内容	アクションプラン事業名	個別事業名	令和5年度事業計画						
					実施目標	実施時期／回数	事業内容	前年度からの課題	課題解決に向けての対策(どのような方法で)	主な事業予算	関連事業(関係機関)
5	4 生涯学習の実現を目指す社会教育の推進	(2)学習機会の提供及び学習成果の活用促進	④ 公民館活動活性化推進事業	公民館事業	社会教育法第20条の目的達成のための事業を行う。	4月～3月/年間36事業	<p>公民館基本計画に定める「公立公民館で実施する事業」に基づき、新しい生活様式を取り入れながら實際生活に即する教育、学術及び文化に関する各種事業や講座を開催する。</p> <p>地域で活動する人材の育成や、団体等の支援を行うことなど、地域住民参加型の事業を推進し、住民相互の交流と教養の向上、さらには健康増進を図り、地域住民の生きがいづくりの場を提供する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域住民との協働事業 16事業 ・公民館講座、教室等 18講座 ・青少年体験活動推進事業 2事業 	コロナ禍により事業の中止や事業規模の縮小を図ったため、市民の学習する機会等が減少した。	<p>コロナ禍においては、できる限りの感染防止対策を講じ、講座等が開催できるよう努める。</p> <p>活動が停滞又は衰退したサークル団体の支援を図る。</p>	<p>事業総額 2,109千円(内訳)</p> <p>講師謝礼 545千円</p> <p>消耗品費 756千円</p> <p>委託料 132千円</p> <p>使用料及び賃借料 676千円</p>	<p>中央公民館</p> <p>地区公民館</p> <p>分館</p> <p>各種実行委員会等</p> <p>サークル団体</p>

令和5年度 嘉麻市立図書館事業計画表（案）

指定管理者：株式会社図書館流通センター

番号	アクションプラン 主要施策	アクションプラン 施策内容	アクションプラン 事業名	個別事業名	令和5年度事業計画						
					実施目標	実施時期/回数	事業内容	前年度からの 課題	課題解決に向け ての対策（どの ような方法で）	主な 事業 予算	関連事業 （関係機 関）
1	4 生涯学習の実現を目指す社会教育の推進	(3) 図書館の利用促進	① 図書館施設管理運営事業	資料の収集整理	「嘉麻市立図書館資料収集方針及び選定基準」に基づき選書を行う	4月～3月	① 図書館資料の収集(選書等) ② 寄贈資料の受け入れ ③ 受入資料の分類、データ入力、装備及び配架 ④ 予約本及び配本の処理 ⑤ 新聞の受入及び配架 ⑥ 書架の整理 ⑦ 破損・汚損・紛失資料の弁償処理 ⑧ 資料の補修 ⑨ 資料の除籍 ⑩ 蔵書点検 ⑪ 督促処理	継続中			
2	4 生涯学習の実現を目指す社会教育の推進	(3) 図書館の利用促進	① 図書館施設管理運営事業	移動図書館車運営業務	運行計画表に基づき運行する	4月～3月	① 各ステーション（保育所（園）、幼稚園、学校、施設等）との連絡調整 ② 貸出・返却 ③ 運行計画表の作成・決定・報告 ④ 図書館カードの作成 ⑤ 資料の整理	継続中			
3	4 生涯学習の実現を目指す社会教育の推進	(3) 図書館の利用促進	① 図書館施設管理運営事業	カウンターサービス	高いホスピタリティを持ち、的確に行う	4月～3月	① 利用者登録・再発行、登録情報の変更、図書館を利用するにあたっての説明 ② 貸出・返却処理 ③ 予約・リクエストの受付及び処理 ④ 図書館カードの再発行受付及び処理 ⑤ レファレンス業務・資料相談 ⑥ 館内設置のインターネット利用端末、OPAC、来館者分析等の管理 ⑦ 資料の複写サービス ⑧ パンフレット等の整理整頓 ⑨ ブックポストの整理	継続中			
4	4 生涯学習の実現を目指す社会教育の推進	(3) 図書館の利用促進	① 図書館施設管理運営事業	要望及び苦情の対応	各種要望・トラブル・苦情には迅速かつ誠実に対応する また、その内容・状況及び対応について速やかに教育委員会へ報告する	4月～3月	① 各種要望・トラブル・苦情には迅速かつ誠実に対応し、内容・状況及び対応について速やかに教育委員会へ報告する	継続中			
5	4 生涯学習の実現を目指す社会教育の推進	(3) 図書館の利用促進	① 図書館施設管理運営事業	関係機関との連携・連絡	市及び教育委員会（所管課）と定期的な調整会議を実施する	4月～3月	① 毎月会議を実施する	継続中			
6	4 生涯学習の実現を目指す社会教育の推進	(3) 図書館の利用促進	① 図書館施設管理運営事業	職員研修	職員の資質の向上	4月～3月	① 館内研修の実施（eラーニング等） * スタッフの技術能力に応じた必修研修の受講 * ハラスメント、業務改善、コーチングなど役割に応じた研修 ② 福岡県立図書館等の外部研修に参加 * 県立図書館の対面研修に参加し、スキルアップとネットワーク作りを行う ③ スキルアップによるやりがいの創出 * 研修の機会を平等にし、知る機会を確保する ④ 安心安全な環境づくりと対応研修 * 利用者のクレーム等に対する研修 * AED使用法の研修実施 * 非常時の対応訓練実施	継続中			
7	4 生涯学習の実現を目指す社会教育の推進	(3) 図書館の利用促進	② 読書活動推進事業	子ども読書活動の支援	「嘉麻市子ども読書活動推進計画」に基づき、多くの子ども達に読書に親しんでもらえるよう資料の充実を図り、読書活動を支援する	4月～3月	① 定期的におはなし会を行う ② 読書週間にはスペシャルおはなし会を開催 * 子ども読書週間スペシャルおはなし会（4月～5月） ③ 年齢や興味に応じた資料を提供する ④ 子どもたちが本を選びやすい環境をつくる	継続中			
8	4 生涯学習の実現を目指す社会教育の推進	(3) 図書館の利用促進	② 読書活動推進事業	ブックスタート	乳幼児から親子で本に親しみを持ってもらおう	4月～3月	① 絵本を配布し、図書館利用に期待感を持ってもらう声かけを行う ② 絵本の力を多くの方に伝える資料を作成し広報する ③ 様々な年代への事業の周知	継続中			

令和5年度 嘉麻市立図書館事業計画表（案）

指定管理者：株式会社図書館流通センター

番号	アクションプラン 主要施策	アクションプラン 施策内容	アクションプラン 事業名	個別事業名	令和5年度事業計画						
					実施目標	実施時期/回数	事業内容	前年度からの課題	課題解決に向けての対策（どのような方法で）	主な事業予算	関連事業（関係機関）
9	4 生涯学習の実現を目指す社会教育の推進	(3) 図書館の利用促進	② 読書活動推進事業	行事・事業	図書館の利用促進とサービス向上を図るため、各種ボランティア団体等と協力し、教育委員会と協議の上、各種行事や事業を実施する	4月～3月	① おはなし工作会等の実施 ② 読書週間にはスペシャルおはなし会を開催 * 子ども読書週間スペシャル おはなし会（4月～5月） * 春の子ども読書スペシャル in青空フェスタ（山田地区）（5月） ③ こどもの読書週間イベント開催 * 雑誌、児童書の譲渡会を実施 * 青少年向けお金の講座（4月） * ボードゲーム（5月） ④ 夏の調べ学習講座開催 子どもたちが気づいた疑問を図書館を使って調べる方法を学ぶ講座を開催する * 虫博士と学ぶ虫のヒミツ（8月） ⑤ 「図書館を使った調べる学習コンクール」地域コンクールの開催 * 全国コンクール入賞作品の展示 * 学校等に地域コンクールの概要説明 ⑥ 科学イベント（6月）の開催	継続中			
10	4 生涯学習の実現を目指す社会教育の推進	(3) 図書館の利用促進	② 読書活動推進事業	行事・事業	図書館の利用促進とサービス向上を図るため、各種ボランティア団体等と協力し、教育委員会と協議の上、各種行事や事業を実施する	4月～3月	① 秋の読書週間イベントの開催 * 図書館スタンプラリー（10月～11月） * 秋の読書週間スペシャル おはなし会 in 山田ブギウギ（10月） * 秋の読書週間スペシャル おはなし会 in 夢まつり（11月） ② 講座等の実施 * 絵本ですくすく（6月） * 医療セミナー（10月） * 笑えば元気「落語会」（2月） ③ 織田廣喜美術館とのコラボ企画 * 企画展示のテーマに沿ったワークショップの開催 * 夏休みに図書館とオダビと関連施設のスタンプラリー * 美術館学美塾コラボ大人の工作会（2月） ④ てんとう虫号の活動の周知と地域イベントへの参加 * 山田ブギウギ（10月） * 夢まつり（11月）	継続中			
11	4 生涯学習の実現を目指す社会教育の推進	(3) 図書館の利用促進	② 読書活動推進事業	行事・事業に関する業務	図書館の利用促進とサービス向上を図るため、各種ボランティア団体等と協力し、教育委員会と協議の上、各種行事や事業を実施する	4月～3月	① 除籍等資料譲渡会/年2回程度（春と秋の読書週間） ② 公民館ときめき事業講師派遣と事業推進の取り組みに協力し、図書館からも発信を行う * 夏休み、冬休み、春休みに開催されるときめき事業に出向き、ミニブックトークや工作、調べ学習支援を行う	継続中			
12	4 生涯学習の実現を目指す社会教育の推進	(3) 図書館の利用促進	② 読書活動推進事業	学校等との連携	図書館見学、調べ学習に対応する	4月～3月	① 団体貸出の利用促進 ② 教科単元用資料の選書貸出 ③ ブックトークなど職員派遣 ④ 見学、体験の受入れ ⑤ 児童・生徒等の読書意欲の向上を図り、学びに必要な情報、資料の提供を行う	継続中			
13	4 生涯学習の実現を目指す社会教育の推進	(3) 図書館の利用促進	② 読書活動推進事業	学校等との連携	職場体験学習を受け入れる	4月～3月	① 学校との連絡がスムーズにできるよう、利用案内を作成する ② 図書館での活動を提案したり働きかける	継続中			
14	4 生涯学習の実現を目指す社会教育の推進	(3) 図書館の利用促進	② 読書活動推進事業	学校等との連携	図書館実習、インターンシップを受け入れる	4月～3月	① 職場体験、インターンシップの受入 ② 高校との連携企画 ③ 学校との連絡がスムーズにできるよう、利用案内を作成する	継続中			

令和5年度 嘉麻市立図書館事業計画表（案）

指定管理者：株式会社図書館流通センター

番号	アクションプラン 主要施策	アクションプラン 施策内容	アクションプラン 事業名	個別事業名	令和5年度事業計画							
					実施目標	実施時期/回数	事業内容	前年度からの課題	課題解決に向けての対策（どのような方法で）	主な事業予算	関連事業（関係機関）	
15	4 生涯学習の実現を目指す社会教育の推進	(3) 図書館の利用促進	② 読書活動推進事業	学校等との連携	朝の読書活動、ブックトークの依頼を受け入れる	4月～3月	① 学校からの依頼により、読み聞かせ、ブックトークを行う ② 団体貸出の利用促進	継続中				
16	4 生涯学習の実現を目指す社会教育の推進	(3) 図書館の利用促進	② 読書活動推進事業	相互貸借	福岡県立図書館、県内外の図書館との資料の相互貸借を行う	4月～3月	① 相互貸借先の検索、相手方への借受確認 ② 資料相互貸借カードの作成 ③ 借受先への借受依頼、連絡調整 ④ 他自治体図書館からの相互貸借申込書の受領、当該資料の確保、借受先への貸出処理 ⑤ 相互貸借資料の発送（借受分返却及び貸出分） ⑥ 福岡県立図書館の指定館受取・返却サービスの窓口受付	継続中				
17	4 生涯学習の実現を目指す社会教育の推進	(3) 図書館の利用促進	② 読書活動推進事業	団体貸出	読書活動推進	4月～3月	① 登録、貸出、返却、配本、回収、督促等を行う ② 選書の支援を行う	継続中				
18	4 生涯学習の実現を目指す社会教育の推進	(3) 図書館の利用促進	② 読書活動推進事業	関係機関との連携・連絡	関係機関との連携・連絡を適切に行う	4月～3月	① 市内保育所（園）、幼稚園、小学校、中学校、高等学校や近隣の大学等と連携・連絡をとり、ニーズの把握や情報提供を行う	継続中				
19	4 生涯学習の実現を目指す社会教育の推進	(3) 図書館の利用促進	② 読書活動推進事業	関係機関との連携・連絡	嘉飯圏域定住自立圏形成協定に基づく圏域内図書館相互利用に関する協定に伴う連携等を把握し適切に対応する	4月～3月	① 飯塚市、桂川町に住所を有する方に、資料の貸出を行う	継続中				
20	4 生涯学習の実現を目指す社会教育の推進	(3) 図書館の利用促進	② 読書活動推進事業	広報活動と各種情報の提供	施設の広報や情報提供のため、市広報誌、図書館だより等の必要な媒体の作成、配布を含めた戦略的広報活動に取り組む	4月～3月	① 市広報誌への掲載 ② 図書館ホームページの更新 ③ フェイスブックの更新 ④ 地域情報誌等への図書館のPR ⑤ 図書館だよりの作成、配布 ⑥ 嘉麻市ケーブルTV放送からの取材 ⑦ 西日本新聞の司書おすすめ本への原稿提出	継続中				
21	4 生涯学習の実現を目指す社会教育の推進	(3) 図書館の利用促進	③ 図書ボランティア養成事業	図書館関係ボランティアの育成及び支援	新規ボランティアの育成に努めるとともに、各種団体・個人と連携を図り支援する	新規ボランティアの育成講座/年一回程度 スキルアップのための研修/年一回程度	① 新規個人ボランティア向け育成講座の実施 ② ボランティアのスキルアップのための研修・講座等の実施 ③ 読み聞かせ等のボランティア活動機会の提供	継続中				

番号	アクションプラン主要施策	アクションプラン施策内容	アクションプラン事業名	個別事業名	令和5年度事業計画						
					実施目標	実施時期/回数	事業内容	前年度からの課題	課題解決に向けての対策 (どのような方法で)	主な事業予算	関連事業 (関係機関)
1	4 生涯学習の実現を目指す社会教育の推進	(3) 図書館の利用促進	① 図書館施設管理運営事業	図書館施設管理運営事業	嘉麻市立図書館を地域の知の拠点として安心して利用していただけるよう、指定管理者と共同で施設の維持管理を行い、よりよい図書館運営の確立を目指す。	4月～3月 ○図書館協議会 /年4回	<ul style="list-style-type: none"> ●施設管理状況及び補修状況の確認 ●空調設備等施設の基礎的修繕 ●月例ミーティング等での指定管理者との定期的な情報共有及び状況確認 ●図書館協議会の運営等 	<ul style="list-style-type: none"> ●施設修繕箇所の特が難しい等の理由もあり、4月以降も市と指定管理者とで協議を重ねながら施設の維持管理を行った。今後も適切な管理運営が行われるよう協議、確認していく必要がある。 ●指定管理者制度導入初年度でもあり、事業の進め方やお互いの業務分担等の協議しながら進めてきた。協議したことを積み重ねてよりよい事業や業務の進め方を確立していく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ●修繕が必要な個所が特定された際は、報告及び協議方法、その後の修繕対応の流れについてマニュアル化する等早急に対応できるように調整する。 ●毎月の月例ミーティングはもちろん、協力体制を構築し、官民協同で運営するより利用しやすい「嘉麻市立図書館」を目指して今後も意見交換及び協議を重ねていく。 	図書館運営事業費 総額 一千元	嘉麻市立図書館 生涯学習課 中央公民館係
2	4 生涯学習の実現を目指す社会教育の推進	(3) 図書館の利用促進	② 読書活動推進事業	福岡県子どもの読書習慣形成・定着支援事業	読書離れが著しい中学生をメインターゲットに、本を手にとるきっかけづくりを行い、読書習慣の形成、定着を図る。	4月～3月	<ul style="list-style-type: none"> ●中学生をメインターゲットにした読書活動推進事業 	<ul style="list-style-type: none"> ●市内小中学校の校長先生を始め関係者の皆様の協力を得て、市内全域の中学生と小学校高学年児童を対象に「本のポップづくり講座」を開催することとしたが、校区外への外出等の問題もあり、学校での広報も難しいところがあるため、参加しやすい環境を整える必要がある。 ●中学生は休日も部活動や習い事等もあり、なかなか参加しづらい現状があるため、開催しやすい環境を整える必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ●開催する地域を絞る等で声を掛けやすい、参加しやすい環境を整えるため、事前に協議・検討を行う。 ●市内小中学校の校長先生を始めとした関係者の皆様の助言や協力をいただきながら、児童・生徒たちが少しでも本を手取るきっかけづくりとなるような企画を検討する。 	報償費 一千元 消耗品費 一千元	市内中学校 学校教育課 嘉麻市立図書館
3	4 生涯学習の実現を目指す社会教育の推進	(3) 図書館の利用促進	③ 図書ボランティア養成事業	読書ボランティアの活動支援	指定管理者制度導入後も読書ボランティアの皆様へ様々な情報を提供することでボランティア活動やスキルアップ等の支援を行う。	4月～3月	<ul style="list-style-type: none"> ●嘉麻市図書ボランティア連絡協議会の運営 ●研修会等の情報提供 ●指定管理者と連絡調整をはかりながらボランティア活動を支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●福岡コロナ警報等発令されていたこともあり、今年度も嘉麻市図書ボランティア連絡協議会総会も書面開催となった。 ●総会や定例会議等を集合して開催する際には、参加者が安心、安全に参加できるよう配慮する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ●読書ボランティアを対象にした研修等も少しずつ多くなってきたため、情報提供を継続的に行う。 ●総会や定例会議等の開催について、事前にボランティアに相談しながら開催内容を検討する。 	委託料 一千元	読書ボランティア 嘉麻市立図書館

番号	個別事業名	令和5年度事業計画				アクションプラン事業名
		実施目標	実施時期/回数	事業内容	前年度からの課題	
1	アートを身近に	【事業全体の目標1】 アートを身近に感じ、楽しむ環境を提供する。	4月～3月	○美術館を利活用する団体や個人を支援する。 ○様々なジャンルのアート作品に触れ合う機会を提供する。 ○作家、専門家と直接触れ合う機会の創出 ○新たな作品展の開催	継続中	
①	アートを身近に	①心豊かな感性を育む。	4月～3月	○子どもたちの美術的意識の高揚につながるよう、芸術鑑賞や創作活動を支援 ○市民文化の創造拠点としての支援	継続中	① 文化芸術活動推進事業
②	アートを身近に	②各種講座、イベント等の開催 ○創作体験や芸術に関する知識を習得できる講座を実施 ○作品鑑賞や創作活動を通じて、子どもたちの豊かな感性と創造力などを培う機会を提供する。 ○創作活動の楽しさを実感でき、学びを深める機会を提供する	① 月募集 6～7月、 9月～12月（月1回） *11月は近畿大学連携 （2回）	①アートキッズの開催（全7回） ○様々な創作体験や芸術に関する知識を習得できる講座を実施 ○対象者は小学生で募集定員15名 日曜日開催（※近大事業は土日の連日） ○学びの成果である作品は、文化祭や琴平美術展覧会などで展示する。	継続中	④ 美術教育普及事業
③	アートを身近に		②8月	②夏の子ども向け創作講座（夏休み おだびアートラボ）開催 ○美術館に各自、夏休みの図画工作の宿題をもちより、市内の様々な児童と交流しながら館内スタッフの助言を受け作品制作を通じて、創作することの楽しさを体感する。 ○対象者は小学生15名程度	実施時期を冬休みに変更	④ 美術教育普及事業
④	アートを身近に		③1月～2月	③大人向け講座の開催（大人の学美塾）（3回*図書館連携講座） ○専門家の指導のもと、様々な創作体験や芸術に関する知識を習得できる講座を実施	継続中	④ 美術教育普及事業
⑤	アートを身近に	③新規ボランティアの育成講座等の開催 ○円滑な講座運営を支援するなど、活動をとおして喜びを感じ、充実した時間を過ごすことができるよう、美術館とボランティア相互の連携を図る。	5月～12月 年5回程度	○個人ボランティア向け育成講座 ○美術館を支援する市民の育成 ○ボランティアの募集 ○ボランティア研修会等を実施し、子どもの関わり方等を学び、事業内容の充実を図るとともに情報提供を行う。 ○アートキッズでの学習支援、見守り。	新規	④ 美術教育普及事業
⑥	アートを身近に	④ボランティアのスキルアップのための研修・講座等の開催 ○円滑な講座運営を支援するなど、活動をとおして喜びを感じ、充実した時間を過ごすことができるよう、美術館とボランティア相互の連携を図る。	5月～12月 年5回程度	○美術教育の支援や美術館の魅力発見のための講座等を実施 ○ボランティア自身も希望により創作活動や作品展示を体験する。	新規	④ 美術教育普及事業
2	地域との共創	【事業全体の目標2】 地域との共創の機会を創出し、町に美術館をがある価値観の向上を図る。	4月～3月	○ボランティア、学校、他施設等と連携、協力し美術館の役割を再認識する機会を創出 ○アウトリーチ事業の充実 ○市民参加型事業の開催	継続中	
①	地域との共創	①大学等連携 ○様々な創作体験や芸術に関する知識を習得できる講座を実施し、創作活動の楽しさを実感でき、学びを深める機会を提供する。 ○学芸員実習のプログラムを作成し、実習内容の充実を図る。	4月～3月	○見学、体験の受入れ。 ○職場体験、インターンシップの受入 ○大学生等との連携企画 ○学生ボランティアを募集	継続中	④ 美術教育普及事業
②	地域との共創	②各種講座、イベント等の開催に専門家/各種団体・機関等との連携	イベント開催時に連携を依頼	○大人向け講座の開催（大人の学美塾） ○アートキッズの開催 ○夏の子ども向け創作講座開催 ○未就学児向けイベントの開催	継続中	④ 美術教育普及事業
③	地域との共創	③市立図書館とのコラボ企画の実施	夏の企画展開催時	○夏の美術館企画展で読み聞かせ会実施 ○図書館と美術館のスタンプラリー ○美術館の周知活動を常時行う。	継続中	③ 企画展事業

番号	個別事業名	令和5年度事業計画			アクションプラン事業名	
		実施目標	実施時期/回数	事業内容		
④	地域との共創	④共催事業の開催、講師派遣	連携先と協議	○公民館ときめき事業講師派遣 ○事業推進の取り組みに協力し、美術館からも発信を行う。	継続中	① 文化芸術活動推進事業
⑤	地域との共創	⑤文化（郷土資料や歴史）の保存継承	4月～3月	○文化財係との情報共有 ○碓井琴平文化館として連携協力	継続中	③ 企画展事業
⑥	地域との共創	⑥郷土館、平和祈念館、琴平公園との連携	4月～3月	○観光資源としての連携協力	継続中	③ 企画展事業
3	施設の有効利用の促進	【事業全体の目標3】 公共施設としての有効利用の促進を図る。	4月～3月	○融合施設となることで魅力度を高める。 ○新たな利用者への積極的な広報 ○施設そのものの価値の再認識 ○美術館の快適な環境を継続して維持管理を行う。	継続中	
①	施設の有効利用の促進	①貸館（展示室5、アトリエ）の利用推進	4月～3月	○市文化協会等の関係団体との連携 ○個人、団体の作品展示や創作活動の支援 ○利活用のための積極的な広報を行う。	継続中	① 文化芸術活動推進事業
②	施設の有効利用の促進	②琴平公園も一体化した利用促進	4月～3月	○琴平公園を活動の場として文化芸術活動の機会を提供	継続中	② 美術館運営管理事業
③	施設の有効利用の促進	③美術館や琴平公園の安定した維持管理と運営 ○快適な環境の中で安心して、芸術作品鑑賞や創作、展示などの文化芸術活動が行え、また、憩いの場となるように 施設の維持管理と運営を行う。	4月～3月	○施設及び設備を適切に管理し、事故を未然に防ぎ、常に安全で安心して利用できる施設の管理運営 ○隣接する芝生広場が人々の憩いの場として快適かつ安心して利活用できるよう環境美化と維持管理を行う。 ○快適で清潔な環境保持	継続中	② 美術館運営管理事業
④	施設の有効利用の促進	④関係資料の収集及び収蔵作品等の適切な保存管理と幅広い活用	4月～3月	○適切な収蔵場所での保管 ○収蔵庫の燻蒸、定期清掃 ○必要に応じた修復や保存処理を行い、資料の保護に努める。 ○活用の企画立案を行う。 ○デジタル資料の活用	継続中	② 美術館運営管理事業
⑤	施設の有効利用の促進	⑤SDGsの市民認知度の向上	4月～3月	○市民の理解を深め、実践するためにSDGsを知る機会と場を提供 ○図書館の除籍資料の利活用 出張古本譲渡会の開催	継続中	② 美術館運営管理事業

番号	個別事業名	令和5年度事業計画				アクションプラン事業名
		実施目標	実施時期/回数	事業内容	前年度からの課題	
4	学びの支援	【事業全体の目標4】 アートとつながり心豊かな感性を育む。	4月～3月	○子どもたちの美術的意識の高揚につながるよう、芸術鑑賞や創作活動を支援 ○市民文化の創造拠点としての支援	継続中	
①	学びの支援	①学校連携 ○学校等と連携して、子どもたちの芸術作品鑑賞や創作活動の支援をや出前授業などを行い子どもたちの豊かな感性を育む。	4月～3月	○見学、体験等の受入れ ○美術教育の場の提供 ○職場体験、インターンシップの受入 ○高校との連携企画 ○学校との連絡がスムーズにできるよう、利用案内を作成する。 ○美術館での活動プログラム等を作成し、美術館の活用を働きかける。	継続中	① 文化芸術活動推進事業
②	学びの支援	②美術館を活用した学校教育活動支援	4月～3月	○児童・生徒等の芸術作品鑑賞や創作活動の支援 ○学校での出前学習を行う。	継続中	① 文化芸術活動推進事業
③	学びの支援	③市民の生涯学習の支援	4月～3月	○市民の生涯にわたる学びを支援 ○誰もがSDGs17の目標を理解し行動するために、自治体での取り組みや学校、地元企業等の取り組みも紹介する場を提供する。	継続中	① 文化芸術活動推進事業
5	誰もが利用しやすい環境づくり	【事業全体の目標5】 ユニバーサルデザインの7つの原則に基づき誰もが利用しやすい環境づくり。	4月～3月	○誰でも利用しやすい環境づくりは、公共施設の役割であり、柔軟に対応し、公平な利用環境をつくる。 ○社会全体にユニバーサルデザインが浸透するように知る機会をつくる。	継続中	
①	誰もが利用しやすい環境づくり	①公平・平等なサービスの提供	4月～3月	○平等な機会のもとで、誰もが公平にサービスを受けることができる環境作り。 ○ユニバーサルデザインの7つの原則に基づき誰もが利用しやすい環境づくり。	継続中	② 美術館運営管理事業
②	誰もが利用しやすい環境づくり	②美術館教育の支援や社会活動参加の機会の提供	4月～3月	○多様なボランティアを登録 ○様々な活動において、ボランティア参加の呼びかけを行う。 ○個人のスキルや満足度アップの可視化	継続中	④ 美術教育普及事業
6	美術館活動の広報活動強化	【事業全体の目標6】 美術館活動の広報活動強化 ○SNS、紙媒体などさまざまな年代に有効な方法の検討	4月～3月	○様々な年代や環境にあっても、必要な人に、必要な情報が届くような広報活動を検討 ○常に新鮮な情報を提供するよう定期的な更新を行う。 ○ホームページやSNSなどを利用して積極的に発信する。 ○親しみや信頼を受ける記事の作成を心がける。 ○イベントの規模によっては、新聞テレビ等も活用する。 ○日常SNSを利用しない利用者への利用案内を行う。	継続中	
①	美術館活動の広報活動強化	①積極的な市民へのアプローチ	4月～3月	○住民との信頼関係の構築 ○織田廣喜をはじめ、地域ゆかりの作家の偉業を継承する。	継続中	③ 企画展事業
②	美術館活動の広報活動強化	②集客を図るために企画展の開催 ○幅広く優れた芸術作品鑑賞を行う機会を提供することにより、芸術への興味と関心を深め、心豊かな感性を磨く機会を提供する。 ○特別企画展を観光資源として、集客を図る。	7月22日 ～9月18日	○昆虫写真家栗林慧氏の写真パネルを中心に、野鳥や風景写真などを展示する。 ○昆虫写真、野鳥写真を展示し、自然や昆虫・野鳥に関心を持ち、嘉麻市の自然を愛し慈しむ機会を提供する。 ○写真、映像からフィールドを広げ、琴平公園で虫取りなどのワークショップを開催 ○工学博士から昆虫写真家になった写真家栗林慧氏にもスポットをあてることで、作品に込められているメッセージをどう受け止めるか、見る人に問いかける場も提供する。	○特別企画展を観光資源として、集客を図るという点で、広域な周知活動の不足 ○電子決済の整備遅れ	③ 企画展事業
③	美術館活動の広報活動強化	②集客を図るために企画展の開催 ○幅広く優れた芸術作品鑑賞の機会を提供することにより、芸術への興味と関心を深め、心豊かな感性を磨く機会を提供する。 ○関連事業を実施し集客を図る。	【第1期】 10月17日 ～10月22日 【第2期】 10月24日 10月29日 【第3期】 10月31日 11月5日	○第78回県美術展覧会筑豊巡回展 ○福岡県美術展覧会の日本画、洋画、デザイン、写真、書の5部門の中から、公募の部の入賞、入選作品及び筑豊地区の県美術協会会員の作品を3期に分けて展示する。 ○事前に筑豊巡回展実行委員会（各部門より）を開催し、会場の打合せを行う。作品展示は実行委員の指導のもとに業者が行う。 ○各会期の最終日に県美術協会会員による合評会を行う。 ○事後に筑豊巡回展実行委員会を開催し総括を行う	継続中	③ 企画展事業

番号	個別事業名	令和5年度事業計画			アクションプラン事業名	
		実施目標	実施時期/回数	事業内容		
④	美術館活動の広報活動強化	②集客を図るために企画展の開催 ○幅広く優れた芸術作品鑑賞を行う機会を提供することにより、芸術への興味と関心を深め、心豊かな感性を磨く機会を提供する。 ○織田廣喜を中心に地域縁の作家などの作品を収蔵している。この収蔵作品を常設展示とは別にコレクション展として展示公開し、当館の誇る名品の魅力を紹介し、郷土の作家への興味と関心を深める機会を提供する。	3月17日 ～4月22日	○所蔵コレクション展 ○収蔵作品を活用した展覧会を開催する。 ○ホームページやSNSを活用し、幅広くPRし周知に努める。	継続中	③ 企画展事業
⑤	美術館活動の広報活動強化	②集客を図るために企画展（自主事業）の開催 ○幅広く優れた芸術作品鑑賞を行う機会を提供することにより、芸術への興味と関心を深め、心豊かな感性を磨く機会を提供する。 ○市民の創作活動のを支援し発表の場を提供する。	5月20日 ～5月28日	○カリグラフィー作家初島さつき氏の作品を中心に展示会を開催する。 ○展示室5を活用し、創作した作品の展示希望を募り、市民展示会を実施する。 ○1団体、仕切り1枚を使用 ○搬入搬出、展示は応募者が展示する。	新規	③ 企画展事業
⑥	美術館活動の広報活動強化	③美術館活動の広報活動強化	4月～3月	○SNS、紙媒体などさまざまな年代に有効な方法の検討 ○ホームページ、Facebook、Twitter、Instagramなどでの発信 ○新聞・雑誌、テレビ局等マスコミへの情報提供 ○ポスター、チラシの制作配布 ○市の観光・まちづくり等の関係課とも連携、協力し周知 ○美術館をまちの資源としての活用を図る。	継続中	③ 企画展事業
⑦	美術館活動の広報活動強化	④利用者ニーズの把握と運営への反映のため専門家/各種団体・機関等との連携を図る。	4月～3月	○利用者アンケートの実施 ○関心分野・満足度の分析	継続中	② 美術館運営管理事業
7	職員の資質の向上	【事業全体の目標7】 職員の資質向上を図る	4月～3月		継続中	
①	職員の資質の向上	①館内研修の実施（eラーニング等）	4月～3月	○スタッフの技術能力に応じた必修研修の受講 ○ハラスメント、業務改善、コーチングなど役割に応じた研修	継続中	② 美術館運営管理事業
②	職員の資質の向上	②外部研修等に参加	4月～3月	○ネットワーク作りと専門的知識の習得を目的として積極的に参加	継続中	② 美術館運営管理事業
③	職員の資質の向上	③スキルアップによるやりがいの創出	4月～3月	○研修の機会を平等にし、知る機会を確保する。 ○業務の見直しを行い、業務改善を行い、できた時間で新しいサービスを創出	継続中	② 美術館運営管理事業
④	職員の資質の向上	③安心安全な環境づくりと対応研修	4月～3月 AED研修は年1回	○利用者のクレーム等に対する研修 ○AED使用法の研修実施 ○非常時の対応訓練実施	継続中	② 美術館運営管理事業

番号	個別事業名	令和5年度事業計画				アクションプラン事業名
		実施目標	実施時期／回数	事業内容	前年度からの課題	
1	指定管理者との進捗管理、連携	美術館の管理運営が円滑に行われ、美術館の活性化とサービス向上を図る。	4月～3月	<ul style="list-style-type: none"> ○指定管理者との月例会開催 ○管理運営事業の進捗状況把握、管理 ○事業の企画運営の協働・連携 ○情報提供、連絡調整 	継続中	② 美術館運営管理事業
2	織田廣喜美術館運営協議会の開催	美術館の活性化とサービス向上を図る。	年3回程度	<ul style="list-style-type: none"> ○事業計画への意見聴取 ○事業の点検評価報告への意見聴取 ○事業報告への意見聴取 ○施設管理運営への意見聴取 	継続中	② 美術館運営管理事業
3	空調設備の維持管理(修理)	快適な環境の中で安心して施設利用が行われ、収蔵展示作品の維持管理、活用を継続する。	4月～3月	○空調設備の部品取替修理	継続中	② 美術館運営管理事業

令和5年度 嘉麻市教育委員会 生涯学習課事業計画表(案)

【文化財係】

番号	アクションプラン主要施策	アクションプラン施策内容	アクションプラン事業名	個別事業名	令和5年度事業計画						
					実施目標	実施時期／回数	事業内容	前年度からの課題	課題解決に向けての対策(どのような方法で)	主な事業予算	関連事業(関係機関)
1	7 市民文化の創造	(2)文化財の保護・継承・活用	① 郷土の歴史文化を守る事業	文化財保護審議会	嘉麻市文化財保存活用地域計画案を作成すること	6月 9月 3月	・文化財の保存及び活用に関する重要事項について審議	指定文化財及び嘉麻市文化財まちづくり推進団体についての諮問	関係者と協議を進めながら、迅速に審議が進むよう関係資料を整える。	予算未定 ・委員報酬 ・費用弁償	—
2	7 市民文化の創造	(2)文化財の保護・継承・活用	① 郷土の歴史文化を守る事業	指定文化財の維持管理	国・県・市指定文化財の管理・監督を適切に行うこと	通年	・指定文化財への補助金 ・指定文化財等の日常管理 ・指定文化財所有者等への指導・助言	①自然災害・老朽化等による指定文化財の補修等 ②少子高齢化社会による地域の文化財担い手の育成	①県及び関係者と協議しながら優先順位を決定し、計画的に補修等を行う。 ②文化財まちづくり推進団体認定制度を施行し、地域と協同で文化財保護に取組める体制を整える。	予算未定 ・沖出古墳葺石補修工事 ・三郎丸大クス治療 ・文化財まちづくり推進団体認定補助金ほか	福岡県教育庁 文化財まちづくり推進団体
3	7 市民文化の創造	(2)文化財の保護・継承・活用	① 郷土の歴史文化を守る事業	文化財調査	市内に残る多様な文化財の適切な保護を図ること	通年	・開発行為等の事前審査 ・埋蔵文化財の再整理(国庫) ・収蔵古文書の調査・整理 ・未指定文化財等の調査	①小野谷石造警鐘台の指定に伴う調査 ②メガソーラ建設及び公共事業等にかかる埋蔵文化財の事前調査	①石造警鐘台の測量調査等を実施し、文化財指定の手続きを進める。 ②埋蔵文化財の適切な保護ができるよう、工事関係者等との事前協議をこまめに実施する。	予算未定 ・会計年度任用職員2名報酬 ・石造警鐘台測量委託ほか	福岡県教育庁 地元行政区等
4	7 市民文化の創造	(2)文化財の保護・継承・活用	② 郷土の歴史文化を伝える事業	歴史民俗教育普及事業	郷土の歴史文化にかかる主催事業や学習支援を通して、郷土愛の育成や郷土のPRに努めること	通年	・春季沖出古墳特別公開:4/15・16 ・秋季沖出古墳特別公開:10/14・15 ・文化財ボランティアの育成 ・学習支援/講演会講師等 ・刊行物の作成	①文化財公式You Tubeの利用者を増やすこと ②学習支援/講演会講師等の依頼増加への適切な対応	①学校教材や資料活用につながる動画を充実させると共に、SNS等を通じ周知に努める。 ②職員の資質向上を図ると共に、ボランティアの育成に努める。	予算未定 ・会計年度任用職員2名報酬 ・文化財マップ製作ほか	図書館係 市内各地区公民館 市内小中学校 嘉麻市観光まちづくり協会
5	7 市民文化の創造	(2)文化財の保護・継承・活用	③ 郷土の歴史文化拠点施設活用事業	稲築文化ふれあい伝承館運営	施設を適切に管理すると共に施設運営方法の見直しを図ること	通年	・施設の日常管理 ・施設の案内説明	施設の老朽化に伴う修理等の増加	山野の楽保存会との連絡調整をこまめに行い、修理等は早期段階で対応する。	予算未定 ・エアコン取替 ・警備委託 ・施設管理委託ほか	山野の楽保存会 市内小中学校
6	7 市民文化の創造	(2)文化財の保護・継承・活用	③ 郷土の歴史文化拠点施設活用事業	嘉穂ふるさと交流館運営	施設を適切に管理すると共に代替施設の検討を行う	通年	・施設の日常管理 ・施設の案内説明 ・資料の利用等 ・資料の台帳整備	①収蔵資料台帳の整備 ②施設の老朽化による収蔵資料等の移管	①資料移管に向けて、年間目標を立て資料台帳の整備を進める。 ②収蔵庫整備に向けて、選地を行い施設設計を進める。	予算未定 ・収蔵庫設計費 ・警備委託ほか	—
7	7 市民文化の創造	(2)文化財の保護・継承・活用	③ 郷土の歴史文化拠点施設活用事業	郷土館・平和祈念館運営	施設を適切に管理すると共に施設運営方法の見直しを図ること	通年	・施設の日常管理 ・施設の案内説明 ・資料の利用等 ・資料の台帳整備 ・郷土館/祈念館の常設展示替え ・「語り、伝える戦争の話」:8/5	①田中松月資料(人権資料)の活用 ②碓井郷土館収蔵資料台帳の整備 ③碓井郷土館常設パネルの劣化	①碓井平和祈念館の人権資料常設展示を拡充し活用を図る。 ②年間目標を立て、資料台帳の整備を進める。 ③年度計画を立て、パネルの取替えを進める。	予算未定 ・会計年度任用職員2名報酬 ・新聞広告料 ・常設展パネル製作 ・展示ケース製作ほか	美術館係 図書館係 指定管理者